

報道発表資料翻訳

2018年9月14日

テクトロニクス、IBC 展示会(ホール 5)で

次世代ビデオ・ネットワークのための品質保証／テスト・ソリューションを展示

クラウドおよび仮想ワークフロー環境から、25G IP インタフェースによる SMPTE ST 2110 と HDR/WCG のサポートまで、テクトロニクスは新世代のメディア・テストを実現

[2018年9月10日]米国オレゴン州発 - テクトロニクスは、放送業界にてメディア・テストとモニタリングと診断ソリューションで業界をリードする最新鋭の機器を、IBC(International Broadcasting Convention)2018の展示会(ホール 5.A73)に出展することを発表しました。展示はテクトロニクスのブースだけでなく、展示会フロアの12近くのパートナー・ブースにおいても、テクトロニクスの計測器が数多く展示されます。

テクトロニクス、ビデオ・プロダクト・ライン、ジェネラル・マネージャのチャーリー・ダン(Charlie Dunn)は、次のように述べています。「IBCの展示会では、制作、ポストプロダクション、コンテンツ配信における最新のモニタリング・ソリューションをご覧いただけます。当社は、今年の展示会において、SMPTE ST 2110のように新しい規格への対応、HDRコンテンツの制作、ストリーミング・ライブ/VOD、OTTサービスを効率化する、新しい機能と強化した機能を展示します」

テクトロニクスは、広範なソリューションにおいて機能拡張を行い、業界でのリレーションを強化しています。機能の強化およびパートナーとの関係についての詳細を以下に記します。

fuboTVはテクトロニクスの Sentry 製品ラインアップを使用して確実なストリーミングを可能に

競争の激しい MVPD(Multichannel Video Programming Distributer)環境では、OTTプロバイダは加入者の契約保持が重要になります。ハードウェアをレンタルしない月極の契約で、競合から定期的なアップデートのオファーがある環境では、高品質かつ高性能な常時配信が求められます。fuboTVがテクトロニクスのソリューションで QoE(Quality of Experience、ユーザ体感品質)モニタリングを行う理由がこれです。SentryはグローバルなスケラビリティでOTT/マルチスクリーン・サービスの詳細な解析と包括的なレポートが可能であり、今日の複雑な環境において、モニタリングを簡素化しストリーミング・コンテンツ品質の視覚化を可能にします。

fuboTV、ビデオ・エンジニアリング/オペレーション・マネージャのビリー・ロメロ(Billy Remoro)氏は、次のように述べています。「視聴者に最新の番組を提供することは重要なことです。当社は4K HDR10レベルの放送に移行した際、Sentryを使用して我々がお客様に提供しているものを実際に検証しました。Sentryは広範な機能でサービスのQoEだけでなく、全体のCDN性能も解析できました」。詳細は、[プレス・リリース](#)をご覧ください。

拡張クラウド・ビデオ・ストリーム・ソリューション、PQA、ダイナミック広告挿入、HDR サポート

クラウドベースのストリーミングは大量消費へと向かっているため、テクトロニクスは Aurora と Sentry による拡張ビデオ、VOD クラウド・ビデオのモニタリング・ソリューションを提供しています。この機能強化により、事業者は重要な表示／制御機能が得られ、視聴者の QoE の低下、または解約といったリスクを抑えることができます。[Aurora ファイルベース QC システム](#)は、AWS (Amazon Web Services) ワークフローと Amazon S3 (Amazon Simple Storage Service) のクラウドベースのワークフローに対応しますが、ストリーミング・ビデオでますます重要なコンポーネントである 4K-HDR コンテンツの検証に利用できるようになりました。事業者の進展に伴ったコストに対応できるよう、テクトロニクスはライブおよび VOD 品質保証のため、サブスクリプション・ベース価格を含む新しいクラウドベースの価格オプションを発表しました。

TekMOS では、[Sentry](#) において視聴者体験に密接に関係する、画質評価レイティングを装備しました。TekMOS は、参照画像が不要な画像品質解析アルゴリズムで、機械学習技術を使用した MOS (Mean Opinion Score、平均オピニオン評点) であり、複数のストリームで同時に実行でき、コンテンツの平均オピニオン値 (MOS) を出力します。これにより、診断における推定が減り、迅速で効果的な補正が可能になります。TekMOS のスコアは、グラフィック表示または API で抽出できます。

[Sentry ABR](#) は CMAF をサポートします。これは、ストリーミング事業者が HLS、Dash メディアを 1 つの共通フォーマット対複数のフォーマットへの符号化を可能にする ABR 規格です。CMAF は、サービスを配信するのに必要なストリーミングのバリエーションの数を大幅に減らします。Sentry ABR は、OTT ストリーミングのための、プログラム制御によるダイナミック広告挿入解析も提供します。この機能により、ABR ストリーム内に正しく広告が配置され、他のコンテンツと同じ品質で再生できることが検証できます。詳細は、[プレス・リリース](#)をご覧ください。

ハイブリッド環境と次世代ワークフローのための IP ツール

この一年、テクトロニクスは PRISM ハイブリッド IP/SDI モニタリング製品ファミリーを拡充し、PRISM 製品に 10G オペレーション・ユニット、インテグレートッド・オーディオ、デュアル・スクリーン、25G アップグレード・パスを追加しました。PRISM プラットフォームは、放送の運用、エンジニアリング・ワークフローにおける包括的なモニタリング機能を強化しており、編集、ライブ制作において使われている、波形、ベクトル、ダイヤモンド表示などの機能も装備しています。

テクトロニクスは、テレビ放送局が IP ネットワークを実装するために必要な機能について注視しています。この移行をサポートするため、SMPTE ST 2022-6/7、ST 2110、PTP (ST 2059) に必要な接続機能を、最新の PRISM 製品ファミリーに標準で搭載しました。PRISM は最新のメディア解析機器／ツールセットであり、複数の IP ストリームコンテンツを簡単に識別、解析し、PTP メッセージの存在が確認できます。これにより、ハイブリッド環境において迅速に IP システムのデバッグと、品質／タイミング・チェックが行えます。詳細は、[プレス・リリース](#)をご覧ください。

パートナー企業、IBC でテクトロニクス製品を採用

テクトロニクス・ブースでの展示以外にも、テクトロニクスの製品は展示フロアのパートナー企業、お客様のブースにも展示され、最新技術の展示サポートのために使用されます。

- テクトロニクスの PRISM と SPG8000A 型は、IBC 2018 の [AIMS IP Showcase](#)、[IP Showcase Theater](#) で重要なテスト／計測コンポーネントです。PRISM 測定ユニットと、PTP に対応したシンク・パルス・ゼネレータである SPG8000A 型は、展示会全体の多くの場所で様々なサポート機能を提供しています。

- [Arista](#) 社(ブース番号:8.E30)は、2059-2 ネットワークの時間同期分配のためにテクトロニクスの PTP 付 SPG8000A 型を使用し、PRISM と共にネットワークのメディア・ワークフローをモニタリングします。Arista 社とテクトロニクスは、バウンダリ・クロックまたはトランスペアレント・クロックを使い、放送およびトランザクション・レートの高い業界のために優れたスケーラビリティを持った堅牢な PTP ネットワークを提供します。
- [Evertz](#) 社(ブース番号:1.D31、1.F29)は、大型の SDVN(Software Defined Video Networking)ソリューションの一部として PRISM を使用し、ST 2110 IP ネットワークのテスト/測定サポートを提供します。また、AMWA IS-04、IS-05 を使用し、Evertz 社の SDVN 編成システムである MAGNUM を使用して PRISM への ST2110 フローを登録、検出、制御します。
- [EVS](#) 社(ブース番号:8.B90)は、テクトロニクスと共に SMPTE 規格と AIMS サポートのプロトコルを使用した IP によるブース展示により、最新の製品とソリューションを展示します。EVS SCORE MASTER は、テクトロニクスの SPG8000A 型が PTP タイミングを供給する IP ネットワークの統合、ルーティングで使用されます。
- [Imagine Communications](#) 社(ブース番号:4.A01)は、テクトロニクスの SPG8000A 型を使用して再生、グラフィック、ルーティング、プロセス、制御、マルチビューア・ソリューションにおけるハイブリッド SDI/IP ワークフローのライブ・デモのため PTP タイミングをとります。また、PRISM を使用し、Imagine 社の展示ブース内のすべての SMPTE ST 2002、2110 の信号フローが業界の仕様に適合している展示をします。
- [Nevion](#) 社(ブース番号:1.B71)は、Nevion VideoPath 統合プラットフォームの制御による、シンプルだが真のスパイン/リーフの IP SDN(ソフトとウェア・ネットワーク)によるライブ・デモを行います。テクトロニクスの PRISM メディア解析プラットフォームは共有ソースとして接続され、ネットワークに存在する 2022-6 または 2110 IP ストリームをモニタリングします。
- [Pebble Beach Systems](#) 社(ブース番号:8.B68)は、AJA、Arista、Embrionix、NewTek、テクトロニクス、Vizrt など、さまざまなベンダとの ST2110 のワークフローを集合します。SPG8000A 型はネットワーク・デバイス間の PTP タイミングと同期をとり、PRISM はネットワークのさまざまなメディア・フローをモニタリングします。
- [Harmonic Inc.](#)社(ブース番号:1.B20)は、テクトロニクスの SPG8000A 型を使用し、SMPTE ST 2110 オール IP ニュース・スタジオ制作のインターオペラビリティをデモします。テクトロニクスの SPG8000A 型はグラウンドマスタ・クロックであり、SMPTE ST 2059 に準拠した PTP ベースのタイミングを供給し、デモで使われる SMPTE ST 2110-20 フローの同期をとります。
- [ソニー](#)(ブース番号:13.A10、15.MS44)は、ソニーの IP ライブ・システムの PTP グランドマスタとして、テクトロニクスの SPG8000A 型を使用します。
- [Cisco](#) 社(ブース番号:1.A71)は、SPG8000A 型のマスタ・クロックを利用して、メディアのための Cisco IP ファブリックの同期、SMPTE 2059、AES 67、デフォルトのプロファイルのサポートを行います。テクトロニクスの PRISM も Cisco のブースに展示され、非圧縮ビデオ・ストリームの品質解析に加え、IP ワークフローの表示、管理を行います。

テクトロニクスについて

米国オレゴン州ビーバートンに本社を置くテクトロニクスは、お客様の問題を解決し、詳細の理解を深め、新たな発見を可能にする、革新的で正確かつ操作性に優れたテスト／計測モニタリング・ソリューションを提供しています。テクトロニクスは70年にわたり電子計測の最前線に位置し続けています。

ウェブサイトはこちらから。 jp.tek.com

テクトロニクスの最新情報はこちらから

Twitter ([@tektronix_jp](https://twitter.com/tektronix_jp))

Facebook (<http://www.facebook.com/tektronix.jp>)

YouTube (<http://www.youtube.com/user/TektronixJapan>)

お客さまからのお問合せ先

テクトロニクス お客様コールセンター

TEL 0120-441-046 FAX 0120-046-011

URL jp.tek.com

報道関係者からのお問い合わせ先
テクトロニクス 広報室 瀬戸
電話:03(6714)3097 Fax:03(6714)3667
Email: seto.atsuko@tektronix.com

Tektronix、テクトロニクスは Tektronix, Inc.の登録商標です。本文に記載されているその他すべての商標名および製品名は、各社のサービスマーク、商標、登録商標です。